

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

音戸中学校区 校番 19 学校名 音戸中学校

a 学校教育目標	<小中一貫教育目標> ふるさとを愛し、自律できる 児童生徒の育成  志をもち、自ら動き、 たくましく生活する 生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 生徒・保護者・地域の期待に応える中学校教育の実現  <ビジョン>(将来の学校像) ~連携・伝統・創造~ ○生徒に、学ぶ喜びと生きる夢を与える学校 ○職員に、責任と意欲を育む学校 ○保護者・地域に、元気と文化を発信し続ける学校
----------	--	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	基礎学力の定着が不十分な生徒、自己肯定感をもち切れない生徒、目的意識の低い生徒が多い。 →「鍛える・励ます・つなげる」をキーワードに授業改善、教育活動の充実を図る。
------------------------------	---

育成すべき資質・能力	(1) 知識・技能 (2) 思考力・判断力・表現力 (3) 協働的に関わる力 (4) 地域の一員として関わる力
------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	(9)月			2月		
						i	j	k	i	j	k
						達成値	達成度	評価	達成値	達成度	評価
***	確かな学力  「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」を主体的に身に付けた生徒の育成	(賞) 生徒が主体的に課題解決に取り組む授業づくりの推進  自分の考えを自分の言葉で伝えられる表現力の育成	○考える授業づくりを推進する。 ・ICTを効果的に活用した授業実践を行う。  ○課題発見・解決学習等の授業研究を行う。  ○「1分間スピーチ」を帰りの会で全校で行う。 ・自他のスピーチに対して、自分の考えをまとめることを通じて、生徒の情報収集力や思考・表現力を育む。	○「思考・判断・表現」の観点からB以上の生徒の割合(国・数)  ○課題発見・解決学習等の校内研修を実施  ○1分間スピーチに関するアンケートにおいて肯定的に回答した生徒の割合	昨年度比+10ポイント以上  年間3回以上  80%						
**	豊かな心・健やかな体  「人を大切にする力」「チャレンジする力」「体力を高めようとする力」を身に付けた生徒の育成	地域協働活動の推進  個に応じた支援の充実  自己肯定感の高揚  生徒の運動意欲の高揚	○OKP(音戸地域協働プロジェクト)活動を実施する。 ・ボランティアを募り、地域行事に参加して協力する。  ○生徒の思いやニーズに応じた支援を充実させる。 ・学校体制で教育相談を全生徒に実施する。 ・保護者や関係機関・専門家(SO等)と連携し、個々の生徒に対応する。  ○生徒主体の活動を充実させ、達成感・充実感をもたせる。 ・生徒会・委員会活動を日常的に行い、活性化させる。 ・サオンドバッジ制度を活用し、生徒の挑戦・努力する姿を評価する。  ○運動意欲を喚起できるように、新体力テストの実施方法を工夫する。 ・前回の記録を基に目標を設定させ、記録更新をめざして取り組ませる。	○OKP活動の年間実施回数(1学期3回, 2学期4回, 3学期3回)  ○「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒の割合  ○自己肯定感に関するアンケートにおいて、肯定的評価をした生徒の割合  ○運動やスポーツが好きな生徒の割合	年間10回以上  80%  75%  70%						
*	安心・安全で、教職員がやりがいをもって働ける学校  「組織マネジメントを確立する」「公開性を高める」	防災教育の充実・深化  「働き方改革」の推進	○地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育を行う。 ・地域人材や出前授業等を活用し、自分事として捉えられる防災教育を実施する。  ○職員の時間外勤務時間を縮減する。 ・部活動休養日の完全実施等を行うとともに、教職員に対する評価・声かけや業務量の調整を随時行う。	○自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している生徒の割合  ○1ヶ月の時間外勤務時間が45時間未満の職員の割合  ○「日々の業務の中で充実感を得られている」と肯定的に回答した職員の割合	80%  70%  70%						

【k:評価】  
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100  
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60